日本語中級（1）

目的： 基本文法と基本漢字を習得し、初級レベルの四技能を一応身に付けた学生が対象。中級レベルの四技能を総合的に伸ばすことを目的とするが、特に日常会話で必要な機能表現の学習や段落のある書き言葉の文章を読んで、上級レベルへの橋渡しとなる日本語能力を習得する。また読解教材を通して日本についての理解も深める。

達成目標：

1. テキストに沿った中級レベルの漢字の習得（書くのを覚える漢字・読めればいい漢字）
2. コミュニケーションに必要と思われる機能表現（頼む、許可をもらう・・）を学び、人間関係や場面に合った自然な会話ができる。
3. 書き言葉による身近な題材（市からの広報誌、簡単な取扱説明書など）の文章を読んで内容が理解できる。
4. 研究活動やホームスティ、各種交流会などの学外イベントにおいて、話題を発展させたり、積極的に自分の意見や考えを述べたりすることができる。
5. 既習漢字、文法、語彙を使いながら、テーマに沿ったわかりやすい文章や礼状、各種レポート、連絡メール、病院での問診表などが書ける。

クラス分けの仕方： 面接、かな漢字力、日本語経歴調査書、第一週目で適合性をチェック

単位： ノンクレジット科目
講義期間： 2011 年 10 月～12 月
各週授業時間数： 2 コマ（3 時間）
総授業時間数： 15 コマ（22.5 時間）
講師名： 筒井　昌子
講義日時： 月・水：16:50-18:20
使用教室： 知識棟４階セミナー室
クラス定員： 10～12 名
講義項目：

1. 紹介の表現：場面や人間関係によって異なる紹介
2. あいさつ言葉：会釈、天気の話題/若者友達同士
3. 丁寧な依頼表現
4. 許可をもらう表現
5. 質問する/アドバイスを求める・与える表現
6. 注文する/引用する表現
7. 人を誘う/誘われる表現（場面や人間関係によって異なる）
8. ～ことになっている/～は初めてです/～ことにする
9. ～ばいいのに/なかなか～ない/しか～ない/つまり/～わけです/～によって
10. ～ていただけないでしょうか/必ずしも～というわけではない/～べき/～ばかり
11. 別に～ない/たしか/さえ/～てくる/～わけではない/～ないで済む/～ずつ
12. せっかく/～わけにはいかない/～ず/～によると/使役受身
13. ～ことは（～が）/～でいいです/～とは限らない/～のではないでしょうか/むしろ
14. ～たっけ/～し始める/～を始め/～にとって
15. 期末試験

講義手法： １、講義　２、テープでの聞き取り　３、パワーポイント　４、フラッシュカード
５、作文　６、スピーチ
使用教材： 「INTERMEDIATE JAPANESE」三浦昭・マグロイン花岡直美著　The Japan Times
アサインメント： 各課の単語、文法と文法練習、読み物の予習、漢字読み・書き練習、作文
規則： 欠席せざるを得ない場合（研究活動、就職活動、体調不良など）は、要連絡
携帯電話 OFF、私語禁止、他言語の使用禁止
評価方法：

1. 学習意欲が旺盛で、授業中の態度（発話、音読、質問など）も積極的である
2. 宿題をきちんとやり、文法練習例文が適切である
3. 作文と発表が中級レベルにふさわしい
4. 漢字テスト結果